

風の輪

岡村理論を身近なものに

法人内研修で松本英孝先生の講演



自分の思いを筆にこめて

水仙福祉会
では、昭和40
年代半ばに、

当時は通うと

ころのなかつ
た障がい児を

風の子保育園

で受け入れて以降、障がいの

ある子どもの保育や療育に力

を入れてきました。また、昭

和63年に義務教育終了後の人

たちが通う障がい者施設、風

の子そだち園を開設し、支援

は子どもだけでなく、大人へ

と広がりました。

平成2年、大阪市社会福祉

研修センター発行の『大阪市

社会福祉研究』への論文募集

に、風の子そだち園での支援

実践をまとめ、応募しました。

それが当時、センター長をさ

れていた岡村重夫先生（大阪

市立大学名誉教授）の目に留

まり、「なかなかいい仕事を

しているやないか」と評価し

ていただいたのです。

これがかきつけとなり、社

会福祉研究の第一人者でいら

した岡村先生に、後援会の会

長、保護者や職員向けの講演

や研修をお願いしながら、法
人職員は岡村理論を学んでい
きました。

昨年4月には、先生が当法

人でしてくださった講演録を
中心にまとめた『本人主体の

支援とは』という冊子を、法

人で作成しました。

昨年度、法人職員はこの本

を元に、岡村理論の理解を深

めるための研修を行ないまし

た。法人内の責任者が集った

研修や、施設内での職員研修

を数回重ねながら、「本人主

体の支援」について再考する

機会としました。その取り組

みのまとめとして11月には、

岡村先生の愛弟子であり、ま

た研究者でおられる、松本英

孝先生をお招きし、お話を伺

う機会をもちました。

今回は、岡村理論だけでなく、

岡村先生の半生記を含め

て、そのお人柄を理解できれ

ばと、松本先生にお願いした

ところ、別の角度から岡村理

論について考える良い機会と

なりました。

（2、3面に松本先生の講

演の内容を掲載）